

会話する喜び、つながる絆

新しい聴こえの医療

人工聴覚機器による難聴治療

入場無料
託児あり
(要事前申込み)

プログラム

13:30 挨拶および「広島大学病院 聴覚・人工聴覚機器センター」開設1周年報告

13:45 広島大学病院副院長/聴覚・人工聴覚機器センター長 平川 勝洋(耳鼻咽喉科・頭頸部外科 教授)

13:45 「難聴医療の最前線」「人工内耳治療の実際」

14:35 広島大学病院 聴覚・人工聴覚機器センター 石野 岳志(耳鼻咽喉科・頭頸部外科 助教)

14:35 「人工内耳のリハビリテーション」

15:00 広島大学病院 聴覚・人工聴覚機器センター 上浅 真莉子(診療支援部言語聴覚士)

休憩

15:15 「人工内耳装用者による体験談」

15:45 聞き手:石野 岳志・上浅 真莉子

15:50 「個別相談コーナー」

16:45 ①診断・治療・手術について ②リハビリテーション ③装用者とのお話 ④製品説明

2015年
3月14日(土)

13:30~17:00
(開場・受付開始 13:10~)

会場

広島国際会議場
地下2階 大会議室(ダリア)

定員 200名

主催:広島大学病院 聴覚・人工聴覚機器センター、中国新聞社 後援*:広島市中途失聴・難聴者協会、人工内耳友の会(ACITA)広島(*2月23日現在) 情報保障:要約筆記、磁気テープ

お申込み方法・お問い合わせ先

チラシ裏面の参加申込書にてお申込みください。お席の準備の為、事前申込みをお願いしておりますが当日のお申込みもお受けいたします。

広島大学病院市民セミナー事務局 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-1-20 お茶の水ユニオンビル5階 ☎0120-30-4133

お申込みいただいた個人情報は本事務局が責任を持って管理し、当セミナーのみに使用します。

FAX:03-5283-7694

広島大学病院市民セミナー 事務局

広島大学病院 市民セミナー

広島大学病院 聴覚・人工聴覚機器センター 開設1周年

新しい聴こえの医療

参加申込書

※当日参加も可能ですが、会場設営の都合上ご返送ください。

御名前

(医療機関もしくは教育機関に御所属の方はご記入ください。)

御所属

御住所

都道
府県

市区
町村

御連絡先

(予定等が変更になった場合にお知らせいたします。託児希望の場合は必須。)

TEL/FAX

E-mail

(どちらかを○で囲んでください。)

託児

託児を希望する

託児を希望しない

託児をご希望の方は、3月12日正午までに、FAXでお知らせください。事務局より別途託児申込書をお送りします。

人工内耳とは

人工内耳とは、内耳の中に人工的な電極を埋め込み、機能が残っている聴神経を直接的に刺激して聴覚を取り戻す人工臓器です。

人工内耳は補聴器でも音を聞くことができない重度の難聴者にとって「音のない世界から音のある世界へ」の大きな福音となっています。しかし人工内耳は手術をするだけですぐに聞こえるものではなく、適切な指導訓練が重要です。また、より良い聞こえのために、正しい知識をもつことも大切です。

補聴器を使ってもよく言葉が聞き取れない方は、人工内耳の装用によって改善する可能性がありますので、専門の医療機関でご相談ください。



▲人工内耳 スピーチプロセッサ



▲人工内耳(プロセッサ)を装着している様子

人工内耳の対象となるのは次の方々です。

高度感音
難聴の方

高度老人性
難聴の方

難聴のレベルが
90dB以上の方

身障手帳
3級以上の方

事故等により
失聴された方

※人工内耳は小児も対象となります。

広島国際会議場 地下2階 大会議室(ダリア)

〒730-0811 広島市中区中島町1番5号(平和記念公園内)

<http://www.pcf.city.hiroshima.jp/icch/access.html>



ご協力ありがとうございました。